

# 学校だより

在マレーシア日本国大使館附属・  
クアラルンプール日本人会日本人学校  
平成28年度 第2号(5月26日発行)  
URL : <http://www.jskl.edu.my>

日 常

校 長 宮谷 真一郎

入学式・始業式から1か月が経ちました。いかがですか、お子さんは。一人で悩みを抱えて、悶々と日々を過ごしていることはないですか。

毎朝、子どもと子ども、子どもと教員、教員と保護者が「おはようございます」「おはよう」などとバスベいで挨拶を交わします。様々な思いを抱えながら朝を迎えただろうに、家から学校へ向かったであろうと、挨拶を交わす表情から読み取れます。一方で、爽やかな空気で満たされるバスベいに立ちながら、毎日を一生懸命過ごし、自分づくりに励もうとする健気なお子さんたちの姿も感じ取れます。

さて、5月11日(水)から13日(金)まで、小学部5年生はパハン州にあるフレーザー・ヒルの自然教室に臨みました。一方、中学部3年生は、5月18日(水)から20日(金)までサラワク州クチンへ修学旅行に出かけました。ともに、マレーシアの豊かな自然を満喫し、「自然の恩恵」を享受してきました。また、友だちや先生方と泊を伴う集団生活を送り、改めて「絆」を深めるきっかけも得たようです。

このような生活を通し、それぞれの旅行で私が「すごいな」と感じ、考えさせられたことがあります。それは、「財産」についてです。

まず、南米アマゾンを凌ぐ古さを誇る、ここマレーシアのジャングルは、「人が生きる上で、当たり前前に消費している酸素」をたくさん供給してくれます。トレッキングで弾む息を整えながら、私自身も「自然の懐の深さや豊かさ」を実感しました。一方で、子どもたちは「時間」も大切に生活を送りました。誰にも共通に与えられた「時間」です。この財産を、仲間との充実した生活を送るために、一人ひとりが大切に大切に使っていました。

あまりにも当たり前であるために、無尽蔵にすら感じるこれらの「財産」です。奪われたとき、失われたときに、その存在の大きさや有り難さに気づくのもかもしれないことを、それぞれの3日間で感じることができました。

毎朝、子どもたちがくれる「おはようございます」の言葉は、決して当たり前ではなく、有り難いことなのだと思いつく感じながら、改めて幸せに思う日々です。いつもお支えくださり、ありがとうございます。



6月の予定	
1日(水)	小 運動会全体練習 中 専門委員会
2日(木)	小 運動会全体練習
3日(金)	運動会前日準備 中 朝会
4日(土)	幼・小運動会 (アゴンズバースデー)
5日(日)	中運動会
6日(月)	振替休業日
7日(火)	小 朝会 中 運動会予備日 歯科検診(7日~10日)
8日(水)	幼・小 運動会予備日
9日(木)	小 にこにこ活動 土浦日大高校説明会
10日(金)	立命館宇治高校説明会
12日(日)	第一回英検一次
13日(月)	個人面談(~17日)
14日(火)	児童朝会
16日(木)	中 期末考査発表
20日(月)	学校運営理事会・PTA代表委員会
22日(水)	ヌズルコーラン(祝日)
23日(木)	カンポン説明会 小 委員会活動
24日(金)	50周年記念講演
28日(火)	小 体育朝会 小6 マラヤ大大学生招待
29日(水)	小3 竹とんぼ教室①
30日(木)	小3 竹とんぼ教室② 中 期末考査1日目

